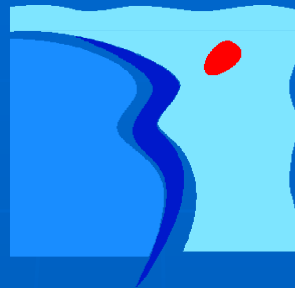


**International
Office
For Water
PARIS-FRANCE**



Office International de l'Eau

International Office for Water

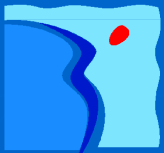
Oficina Internacional del Agua

Международное бюро по водным ресурсам

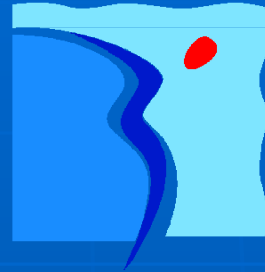
المكتب الدولي للمياه

水资源国际办公室

國際水事務局



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE



International
Network
of Basin
Organizations

Jean - François DONZIER氏文書

General Manager

局長

Office International de l'Eau
International Office for Water

国際水事務局

Permanent Technical Secretary

常任技術事務局長

RESEAU INTERNATIONAL DES ORGANISMES DE BASSIN
INTERNATIONAL NETWORK OF BASIN ORGANIZATIONS

国際流域組織ネットワーク



International
Network
of Basin
Organizations

総会

マルチニク, 2004年1月24~28日

「TROIS-ILETS宣言」

- 3-住民及び地方団体、水利用者、あるいは集団の利益を代表する団体の代表者は、行政当局とともにこの管理に参加すべきである。
- 特に、流域協議会あるいは委員会に参加すべきである。
- 住民あるいは使用者ならべにその代表者に対する情報提供、配慮および教育が不可欠である。



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

フランスにおける 水管理



世界の中の欧州



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

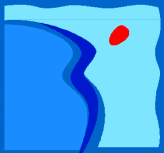
フランスの場合：

12 の水域



**International
Office
For Water
PARIS-FRANCE**

6つの流域管理庁



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

総合水資源管理

州

取水と排水の許可

対話

資材調達および
プログラム作成

インフラの
構築及び運用

- 流域管理庁
- 河川流域委員会

- 州行政当局
- 自治体
- 企業家
- 農家
- デベロッパー



対 話

- 地 域
- 部 門
- 自治体
- 地域開発会社

- 企業家
- 農 家
- 養魚家
- 漁 家

- 採掘場運営者
- 運送業者
- 自然保護者
- 消費者協会など

対話は三段階でおこなわれる制度となっている

1

国家レベル

国家水委員会

国家的な政策、法律、規制の位置づけ

2

六つの河川流域レベル

河川流域委員会

- SDAGE
- 流域管理庁の五ヵ年プログラムの優先事項
- 水使用料

3

支流および帯水層レベル

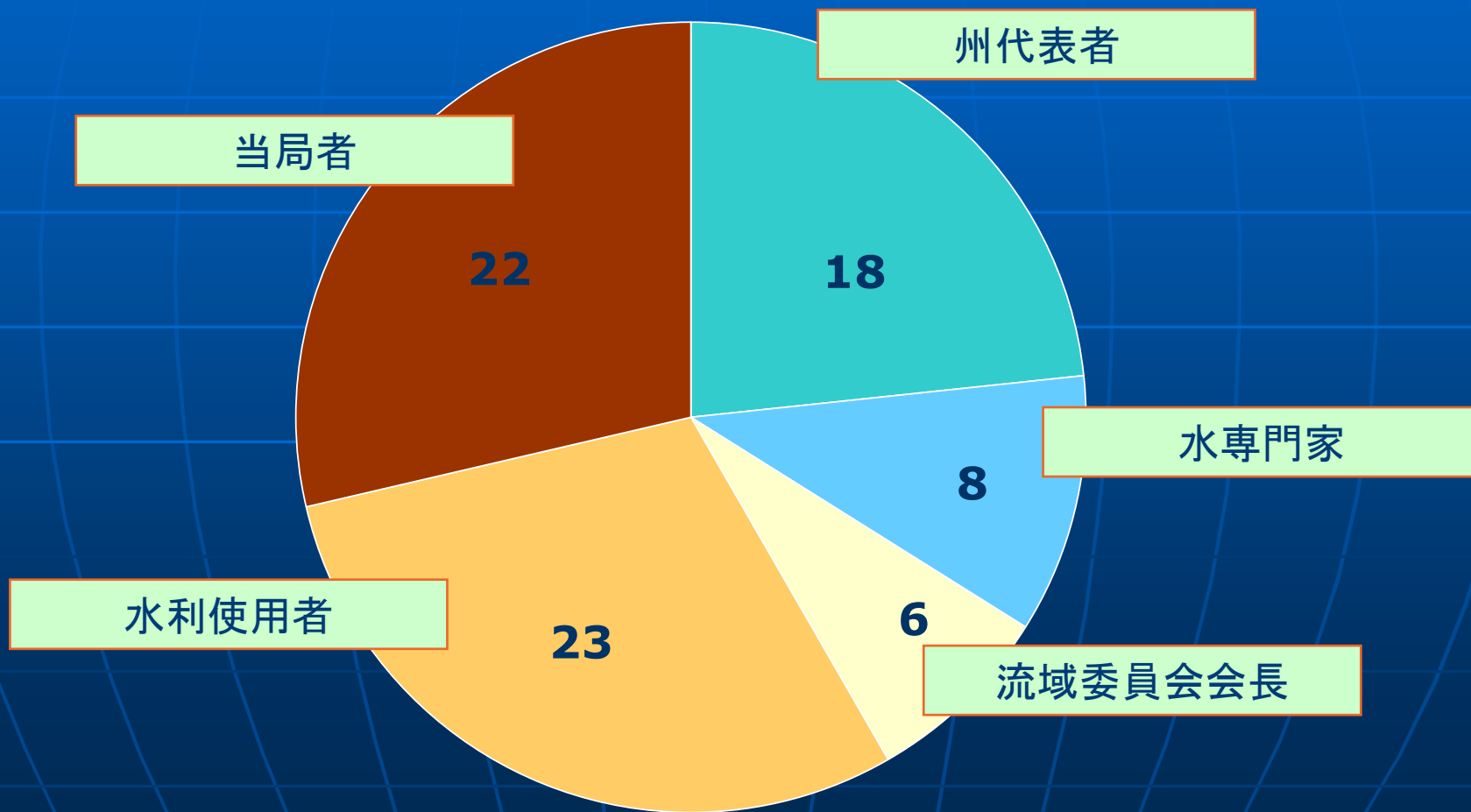
地方水委員会

- SAGE
- 地方水共同体の設置



全国水委員会

首相の責任下にあり、77名の委員で構成される





全国水委員会

諮問機関は以下に関する助言を与える：

- フランスの六つの河川流域，
- 水資源開発と分配のためのすべての大規模事業
- 複数の河川流域が共有するすべての問題
- 水関連法に関するすべての課題



さまざまな水文学的尺度

第二次流域/領域/水系
特定の状況を扱う区域の要素



極度な改修:
極度の改修により現在のゴールを達成するには多大な費用を必要としている (活動の変更など)

⇒ 汚染との関連

水体
良好な状態の達成度を
評価する尺度

水域 =
河川流域 + 関連する地下水域および
沿岸水域



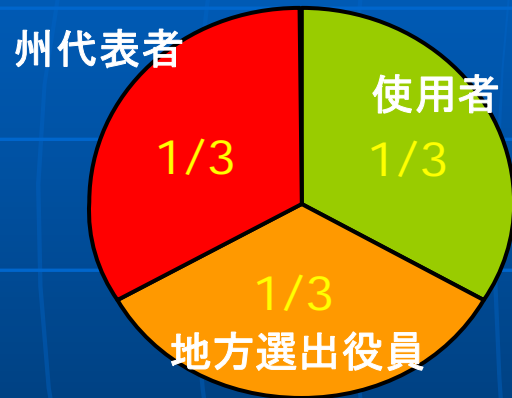
河川流域機関

“水議会”

河川流域委員会
(委員100名)

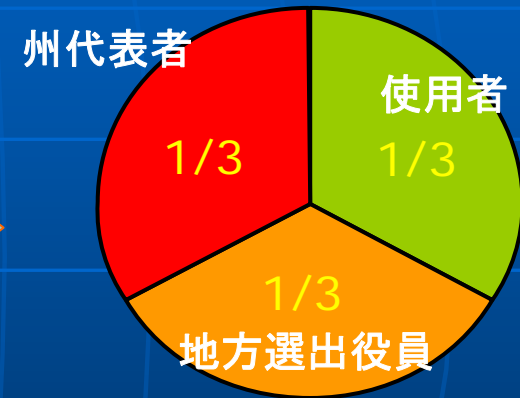
執行部

流域管理庁の役員巻(委員26名)が流域委員会の
決定を実行する



会長を選任

選挙



政府が議長を選ぶ

役員会に参加する際は、諮問発言のみとする:

- 職員代表1名
- 管理庁長官
- 財務検査官1名
- 会計係1名



河川流域委員会の構成

各河川流域の代表者	Adour Garonne	Artois Picardy	Loire Brittany	Rhine Meuse	Rhone Mediterranean Corsica	Seine Normandy
地 域	6	3	8	3	6	7
部 門	18	17	28	14	28	25
自 治 体	6	5	6	5	6	6
使用者および専門家	30	25	42	22	40	38
社会学専門家	6	2	8	3	6	7
州行政当局	18	14	22	14	21	20
委員合計	84	66	114	61	107	103



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

河川流域委員会

以下に関する助言を与える：

- 管理庁の複数年行動計画
- 管理庁が徴収する水利費の料金

策定：

- The SDAGE



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

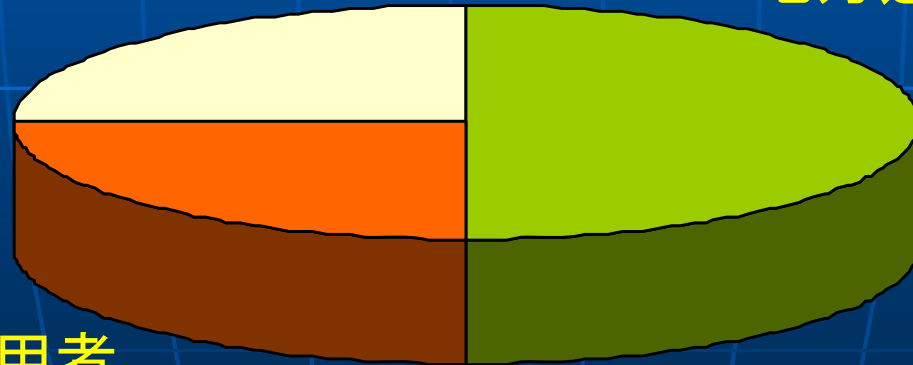
水資源管理開発計画 (SAGEs)

地方水委員会 - LWC -



州代表者

地方選出役員



使用者



International
Office
For Water
PARTNERSHIP

THE SAGE – 継続協議

外部諮問

外部諮問

テーマ別
委員会

テーマ別
委員会

議 長

選出役員

地方共同体

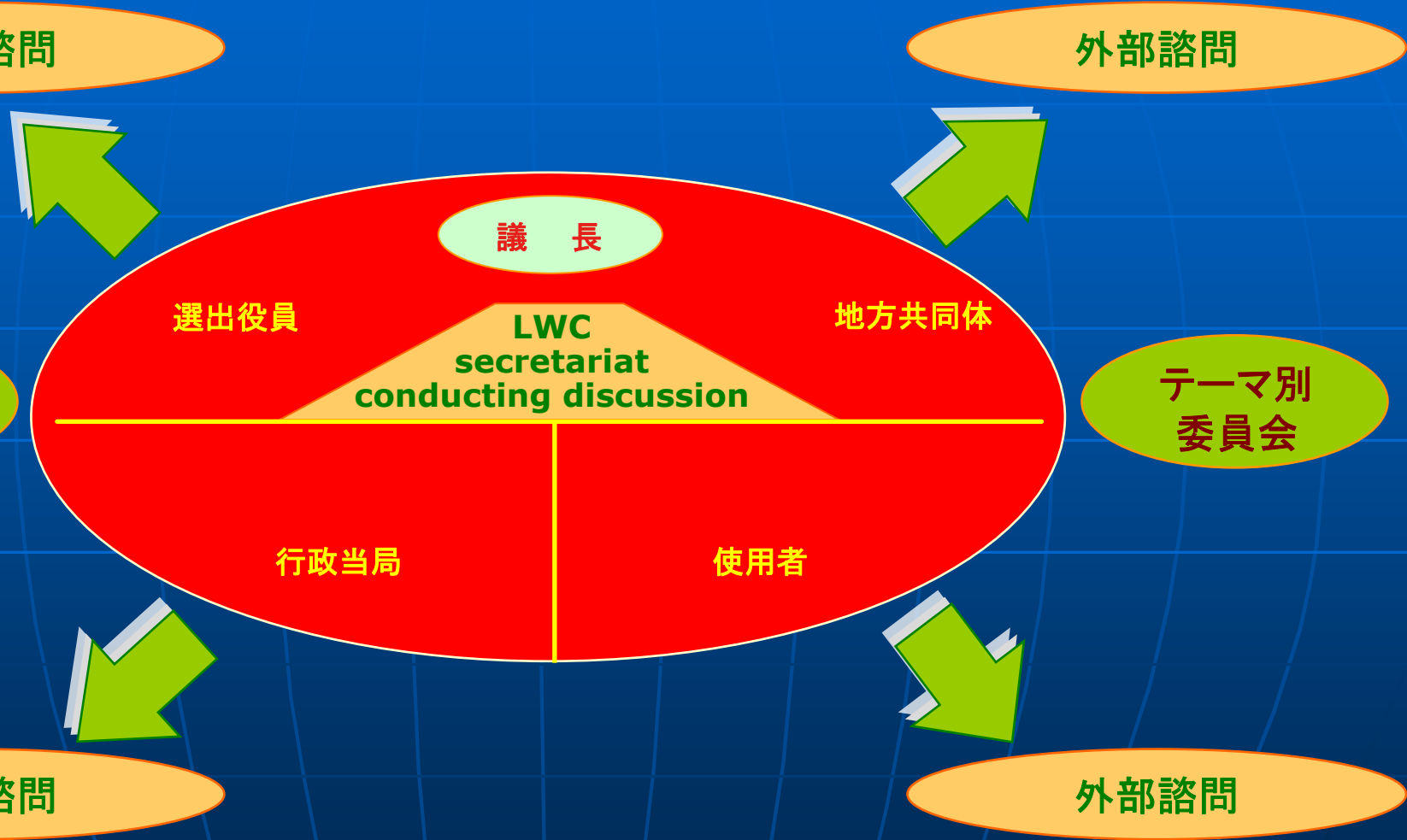
LWC
secretariat
conducting discussion

行政当局

使用者

外部諮問

外部諮問





International
Office
For Water
PARIS-FRANCE



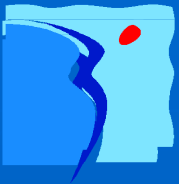
International
Network
of Basin
Organizations

拡大された欧州連合27カ国ならびに加盟候補諸国における

欧州水枠組み司令の実施は、INBO が提唱する良い統治の原則の推進
に向けた重要な道標のひとつである。

2000年10月23日司令2000/60/EC

水政策分野における共同体行動のための枠組み確立



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

→ 大きな課題:

新たな加盟国の統合

現在12カ国、将来は14カ国以上か？



International
Network
of Basin
Organizations

欧州において、世界で始めて27カ国が同一流域を指向した提案を採択！



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

欧州水枠組司令

きわめて意欲的な挑戦:

- 水資源の悪化防止,
- 物質の排出削減,
- 水および水環境の「良好な状態」の達成。



あらゆることが水体それぞれに関連しているため、

WFDの実際の実施には以下を考慮することが重要である:

- 水質および環境の問題だけでなく、
- 水管理とその影響に関するすべての側面、
- 特に、航行における明確な相互作用、エネルギー生産、洪水・渇水の予防および保護を考慮



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE



参加型の作業方式:

全ての過程において計画的な協議を通じ、実質的な透明性を実現するための必要条件は、一般市民が効果的に参加することである。



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

WFD第14条：

« 加盟国は、本司令の実施における利害関係者すべての積極的な関与を奨励するものとする »

⇒ この問題に利害をもるあらゆる関係者、団体、あるいは組織：

⇒ 本主題により影響をうけるため

または、

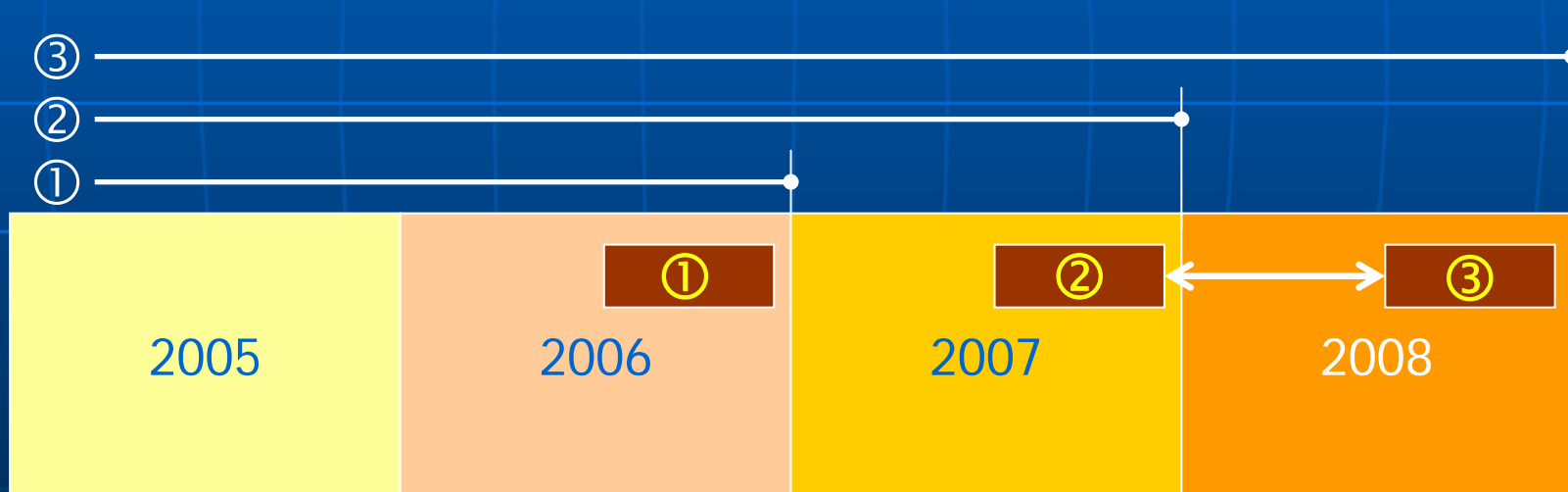
⇒ 本主題に関して影響力、知識、あるいは経験を持っているため。



司令の義務

加盟国は以下に関して市民の意見を聞かなければならない：

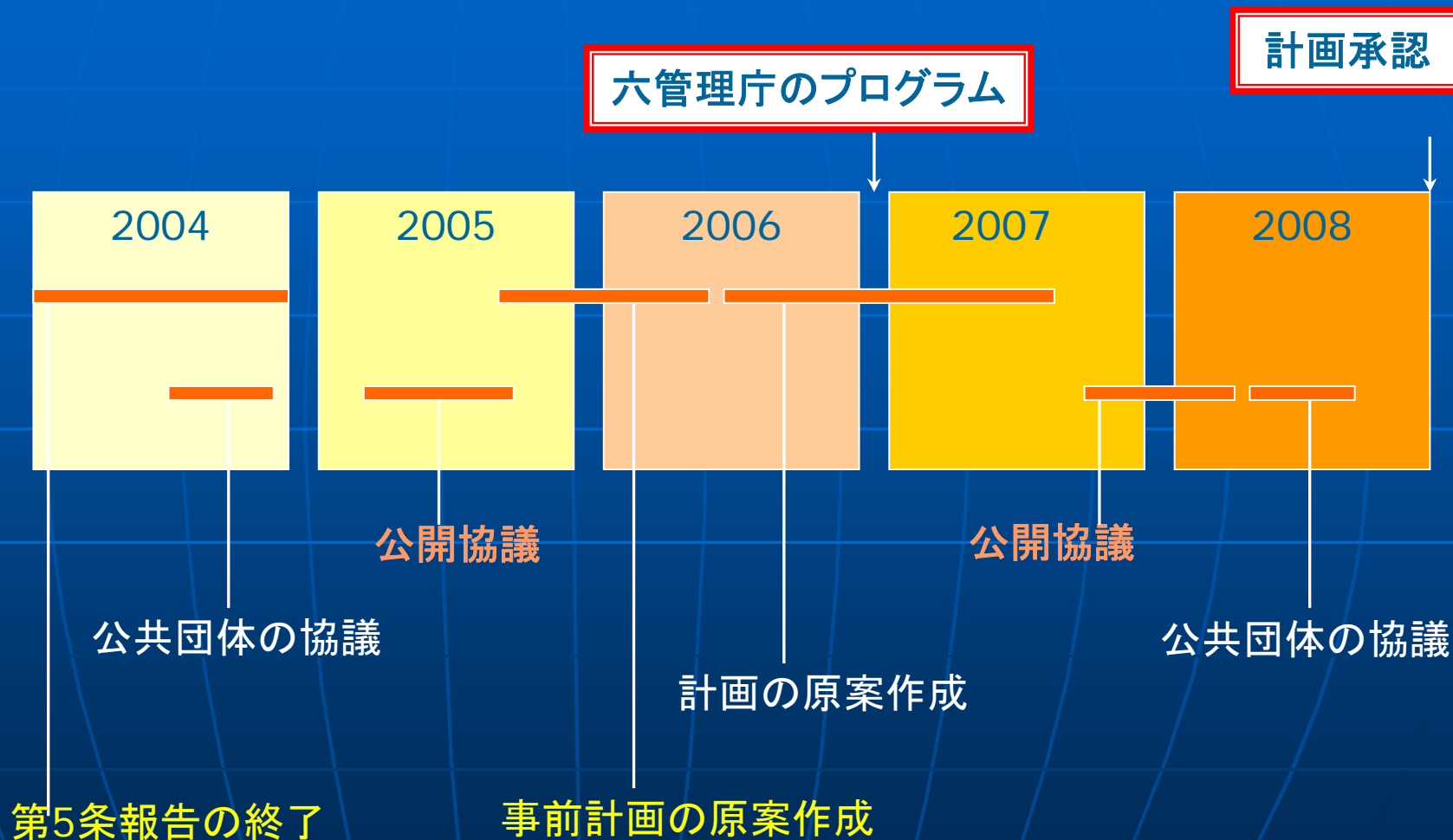
- ① 予定表および作業計画,
- ② 河川流域において指摘された重大な水管理問題の概要
- ③ 河川流域管理計画の原案





International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

全国の予定表





International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

水枠組司令:

2005年 第一回公開協議

↳ 協議日程に関する2004年4月22日の通達

↳ 第一回協議の組織に関する2004年11月24日の通達



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

2005の公開協議

• 日時

2005年5月2日から11月2日

• 場所

区域レベルの組織



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

全国情報伝達計画を活用：

- 全国版小冊子の作成,
- テレビコマーシャルの企画,
- ゴールデン多言のテレビコマーシャルの放送,
- 2005年3月22日国連水の日：記者会見,
- 省庁のウェブサイト.

予算：

200万ユーロ, 80% は流域管理庁が資金調達.



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

市民の参加を確保するには？

区域情報伝達計画：

- 本協議の監督は流域委員会による：
 - 区域内の水管理および水環境に関する文書の配布
 - 情報提供および公開討論のための地方大会の組織
 - 地方代表者の支援：地方代表者、NGO
 - アンケートの送付



公開協議の検証および評価の実現

• 全国的な調査：生態省：

- 全国運営委員会の創設

- 委員会は以下を担当する：

⇒ 全国版小冊子の原案および情報伝達計画の論評

⇒ 計画された行動の評価に関する貢献

⇒ 行動の実施に関する調査結果の作成および2007年に計画されている協議のために選択すべツールの指定



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

- 第一に：
一般市民が招かれ、同地域の水の未来について意見を示すように促す。



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

- 流域委員会の抱負は、使用者それぞれ(一般市民)に発言権を与えること
- 結果：情報伝達および協議のあたらな方法が考案された
- 解決：各世帯が水に関する意見を表明できるようになる(世帯ごとのアンケート)。



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

日程計画

2004

第一段階

9月～11月

水の利害関係者
部門、地域、農商工会議
所

← 2005 5.2～11.2 →

第二段階

5月～6月

識者および/または
専門家

市長, NGO

第三段階

9月～11月

一般市民



●RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● 関係者 (1/2)

- 州
- NGO'
- 共同体
- 流域委員会 (INFO委員会)
- 報道 (メディア)

協議の相手



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● 関係者 (2/2)

さらに...

BLOUP BLOUP と CLAQ CLAQ

一般の支援を得るために二種類の親しみやすいマスコットをつくりあげる

(協議への参加を促すために)



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● メッセージ

主題 (水/WFD) および発信者 (流域委員会) が周知されていないため、

- ・市民にとって身近、明快、容易
- ・自然環境に取り組み(WFD)
- ・強力で興味を引くような

メッセージでなくてはならない。

スローガン : *Thank you in advance !*



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● 注目すべき支援

認識を高め、情報を提供すること (クイズ)

問題を提起すること

四つのテーマ：

希少性、健康、自然、汚染

発言者との関係を構築すること



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● RHINE – MEUSE 河川流域および区域



● シナリオ (1)

● マスコットが登場

メディアにおける宣伝キャンペーン



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● シナリオ (2)

● 各家庭の郵便受けにアンケートを郵送

(1,800,000 部)



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● 情報提供先

- 3,200 の町議会
- 150の水供給者
- 500名のジャーナリスト
- 20,000名の「Rhin-Meuse infos」購読者

NGOのフォーラム



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● 情報/対象のまとめ

状況報告	1000 ページ	公務員、専門家
総合および主要課題	100ページ	利害関係者、 学識者
12課題の説明 (検証 BC)	10ページ	町議会 NGO
4つのテーマ アンケート	4ページ	一般市民



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● 情報の配布 (ツール/対象)

インターネット	<ul style="list-style-type: none">■ eau2015 のウェブサイト■ Rhin Meuse 管理庁ウェブサイト■ 協力者のウェブサイト	専門家層 (部門 – NGO) 全市民
CD-ROM	状況報告、水体データ (完全版)	専門家層
メディア計画	<ul style="list-style-type: none">■ TV■ ラジオ■ 報道発表	一般市民



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

● 一般市民の反応：

70,000を超えるアンケートが返信された !!!



● RHINE – MEUSE 河川流域および区域

● いくらかかったか ?

Service communication externe/Documentation		
Budget Consultation du public - DCE	Bassin RM	
Achat d'espaces	Le Républicain Lorrain	130000,00
Conception des supports	Devorsine et Galilée	71000,00
Distribution questionnaire	La Poste	92720,00
Mise en ligne de la V2 de l'état des lieux	Versus Studio	37800,00 2004
Mise en ligne des enjeux (V2)	Versus Studio	7130,00 2005
Organisation forum des associations		7140,00
Pressage des CD-Rom	Exatech	1475,00
Impression documents de consultation	Imprimerie Sarregueminoise	9940,00 Docun
Annonces légales		7600,00
Traitement des avis	Efficience 3	32400,00
Impression questionnaire	Euro Direct	166000,00
Retour questionnaire (env T)	La Poste	16625,00 35000
Réunions publiques		40000,00
		619830
		619830,00
		0,34
Pour mémoire, partenariats ONG (circuit Aides classiques)		

● 費用 = 620,000 ユーロ



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

学んだ教訓： 多くの問題が未解決である



- 一般市民に情報を提供する最善の方法とは？
 - 全国あるいは地方メディア (TV, 新聞など),
 - インターネット
 - ダイレクトメール送付
 - 公開討論



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

欧州水枠組司令の実施に向けた住民との 協議

- 「行政的な」協議は、文化的基盤、イメージ、承認のサイン、および特定のメディアを必要とする一般住民との「一般的な」の協議の場で実施されるべきではない。



欧州水枠組司令の実施に向けた住民との協議

- 一般住民に広範囲に配信されるメディアを利用するよりも、地方組織や地方情報伝達支援に基づく本来の取組みの方が、より効果的に住民を動かせることがある。
- 住民との協議のための費用が高く、その見返りが期待はずれになることもある。
- 住居地からの近いことおよび直接コンタクトをとることができることを考慮する必要がある。
- 地方自治体およびNGOを中継した進行はきわめて有効なこともあるが、論点の本質が失われないよう注意しなければならない。



欧州水枠組司令の実施に向けた住民との 協議

- 水政策の実施における一般住民との協議および参加には、コミュニケーションと住民対応における専門家が必要である。これによりその効果の最大化や、参加の質を向上させることができ、多くの手法はいまだに検証中ではあるが、そのための最適な手法を明確化させることが可能である。



欧州水枠組司令の実施に向けた住民との 協議

- 対象となる住民に合わせた言葉を採用し、大多数の市民にとって取り付きにくい極端な技術用語あるいは行政用語は避ける必要がある。
- 言葉は、明確、平易、かつ万人にとって理解しやすいものとし、見やすくわかりやすい文書を作成しなければならない。



欧州水枠組指令の実施に向けた住民との協議

- これらの協議は費用がかかるものであり、本分野におけるWFDの新たな義務に応じた適切な予算を確保する必要がある。



欧州水枠組司令の実施に向けた住民との協議

□ 協議を促進するために以下を行う必要がある

- 住民の利害を説明し、それに対して市民が意見を述べられるように、住民の認知度を高め、一般住民に情報を提供する。
- 地方ごとの状況において、一般住民にとって関心のある問題をよりの確に指摘すること。たとえば、飲料水、水道料金、近隣問題など。
- 生態系を良い状態に保つことによるメリットについて、一般住民の認知度を高め、そのための動機付けを行うための準備をすること。
-
- 住民の関心を高め、水の実質的な市民管理を発展させるために、水政策における参考書や文化的に実践するための余地を拡大すること。



International
Office
For Water
PARIS-FRANCE

住民参加における潜在的な利益

- 環境問題に対する一般住民の認識の向上
- より透明性があり創造的な意思決定
- 多様な住民との建設的な対話
- 水管理コストに対する一般住民の理解の増大



AGENCE DE L'EAU
SEINE NORMANDIE



MERCI DE VOTRE ATTENTION!
THANK YOU FOR YOUR ATTENTION!
ご清聴ありがとうございました。

www.inbo-news.org

www.iowater.org

mail: dg@oieau.fr



International Network of Basin Organizations
Réseau International des Organismes de Bassin
国際流域組織ネットワーク
International Office for Water
Office International de l'eau
国際水事務局